

つるせ 公民館だより 第387号



2011.3.1
3月号

編集 つるせ公民館だより編集委員会
発行 鶴瀬公民館 富士見市羽沢3-23-10
Tel 049-251-1140 Fax 049-251-1156
fkm-tu@gaea.ocn.ne.jp



花影橋付近から見た風景(平成23年1月撮影)

わがまち点描

青い山脈

平成五年にふじみ野駅が開業した当時、駅前広場から望めた奥多摩や奥武蔵の山々も、今ではすっかりピルの陰になってしまっただが、砂川堀下流の花影橋あたりまで足を運べば、変わらぬ姿を目にすることが出来る。そんなとき、きまってる思い出すのが、若い頃に見た「青い山脈」という青春映画だ。

今日では同名の歌の方が有名だが、もとはこの映画の主題歌として作られたものだった。

原作は、石坂洋次郎の小説で、これまでに何回も映画化されているが、私が見たのは昭和二十四(一九四九)年の最初の作品である。

映画の舞台は、青い山脈を間近に望む、戦後間もない東北地方のある港町。因習が色濃く残り、高校生の男女交際の是非をめぐって、町の封建的な勢力と民主的な勢力との対立を軸に物語はユーモラスに展開していく。この映画で最も印象に残っているのが、原作にはないが主題歌のメロディにのって、男女高校生グループと彼等に理解を示す教師たちが自転車で土手の上を颯爽(さっそう)と走って行く場面である。

映画を見て以後しばらくは髪をながかせてベダルをこぐ、白いセーラー服姿の一人を見かけると、「ああ、青い山脈だ」と見とれてしまったものである。

(宮崎)

公民館の利用受付

会場予約は先着順ではありません。
団体登録カードをお持ちください。

- *各部屋 午前9時から
5月利用分 3月7日(月)
- *ホール 午前10時から
9月利用分 3月7日(月)

目的外利用者・市外利用者は翌日から受付です。

★第3月曜日は全公民館休館です。
部屋の利用・予約・申請・印刷等の利用はできません。

3月21日は休館日です。

団体登録の更新手続きはお済みですか？

公民館・コミュニティセンター・交流センターなどを利用する際には団体登録が必要です。申請書は公民館窓口にあります。3月18日までに手続きをお願いします。
新たにサークルを作りたいという方もお気軽にご相談ください。
問合せ 鶴瀬公民館

鶴瀬公民館利用者懇談会のお知らせ

とき 3月15日(火)午後7時-
会場 いきいき活動室
片野親義氏(大東文化大学非常勤講師)の講演があります。
問合せ 鶴瀬公民館

子育てサロン



0歳から就園前の乳幼児とその保護者が対象です。
☆親子はひとふりTime(申込み不要)
*親子で一緒に遊びます。手遊び、紙芝居もします。サポーターママが待っています。
とき 3月4・11・18・25日(金)午前10時30分~12時
ところ いきいき活動室

☆げんきっこTime(申込み不要)
2・3歳くらいのお子さんと保護者が対象です。
集団遊びや手遊びなど親子で一緒に遊びます。
とき 3月9日(水)午前10時30分~11時45分
ところ 体育室
指導 杵淵 久美子さん

授乳室ができました

鶴瀬公民館事務室脇に授乳室を設置しました。

ぜひご利用ください。

ご利用の際は事務室にお声かけください。

市内公民館や交流センターに



第25回富士見市地域・自治シンポジウム

「もやいっこでまちづくり」市民交流会
とき 3月26日(土)午後1時~3時
ところ 鶴瀬西交流センター 講座室
*子育て、農業体験、高齢化不安、公民館像などの分科会報告を行います。ご参加お待ちしております。

第36期 鶴瀬学級生募集!

鶴瀬地区の60歳以上の方が対象。5~3月まで通年で実施。
内容 教養講座(講演会 音楽鑑賞会 発表会)など
毎月第3木曜日 午前10時~正午
趣味クラブ(13クラブ)
月曜日コース カラオケ 軽体操 社交ダンス
民謡 ペン習字 書道
木曜日コース コーラス 切り絵 水墨画 料理
詩吟 ウォーキング 新舞踊

冬の囲炉裏から春の桜へと暖かくなる季節。
春言魚と呼ばれるニシン。銀色の細長い魚サヨリ。春の野菜は香りよし、ほのかな苦味よし。ウドにミツ葉のおひたしや和え物。香り高いセロリや色鮮やかなサラダ菜も。
しつかり砂を吐かせたはまぐりやあさり、赤貝みる貝、サザエ等、刺身・汁物に実りの春?です。

編集委員募集
楽しい編集委員会に参加しませんか?(横川)

高齢者サロン



ところ いきいき活動室
とき 午後1時30分~
お体に不安のある方、お友達のほしい方お気軽にお出かけください。
ひだまりほっとたいむ
第1・2・3木曜日
お茶代は月100円です。申込み不要
ホッと安心健康相談 第2木曜日
血圧測定や保健師の相談コーナーがあります。
問合せ 健康増進センター(049-252-3771)
いきいきたいむ
うた声サロン 毎週火曜日 お茶代月100円
懐かしい歌で楽しくリハビリもできます。
おしゃべりサロン 毎週水曜日(無料)
どなたでもお気軽にお越しください。

わんぱく広場

小学生におやつづくりとしゅげいを教えます。
とき 3月19日(土)午前10時~
ところ いきいき活動室 調理室
内容 しゅげい 100円(材料代)
おやつ 200円(材料代)
両方参加したい人は午前9時30分までに来てね!
主催 わんぱく広場スタッフの会
問合せ 鶴瀬公民館

水引で作るブローチ

とき 3月24日(木)午前10時~正午
ところ 鶴瀬公民館 いきいき活動室
講師 水引の会
参加費 500円 保育要相談
問合せ 鶴瀬公民館(049-251-1140)

介護予防サポーター養成講座

とき 3月1日(火)午後2時~4時
ところ 鶴瀬公民館 いきいき活動室
内容 腰痛膝痛予防
講師 健康増進センター職員
参加費 無料
問合せ 鶴瀬公民館(049-251-1140)

会場 鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター
申込み 4月1日(金)から8日(金)までの平日。午前9時から午後5時まで公民館で受付ます。
申込み用紙に必要事項を記入し、参加費1500円を添えて直接お申し込みください。
開級式 5月19日(木)午前10時~
主催 鶴瀬学級運営委員会 鶴瀬公民館

パソコン相談室

参加費・申し込み不要です。どなたでもどうぞ!
ハングル文字でインターネットができます。
毎週水曜日 昼コース 午前10時~12時
3月2・9・16・23日
毎週木曜日 夜コース 午後7時~9時
3月3・10・17・24・31日
場所 いきいき活動室
指導 公民館PCサポートクラブ

鶴瀬駅、今と昔の移り変わり



写真は駅開設に尽力した方々をホームで撮影したものです(写真提供:兵藤芳正氏)。開通当時は、蒸気機関車が客車や貨車をけん引していました。東上鉄道(現東武鉄道・東上線)は乗客輸送だけでなく、農産物などを東京方面へ、また東京方面からは下肥を運ぶなど(昭和2-13年)、それまでの新河岸川の舟運に替わり沿線の産業を担う新たな交通機関となりました。

開通当時、田面沢-池袋間(33.5km)は、一日8往復ほぼ2時間おきに列車が運転され、所要時間は約1時間20分。運賃は、特等・並等の2ランクがあり、鶴瀬-池袋間(22.4km)は、特等で42銭、並等が28銭で所要時間は約50分だったそうです。昭和4(1929)年に電化されてからは、鶴瀬-池袋間は現在とほぼ同じ30分で運行されました。

開通当時の東京市内の「もり、かけそば」の値段は3銭。

「開業当時の鶴瀬駅」 兵藤 芳正さん
私の父は大正8年に東上鉄道に入社し、鶴瀬駅に勤務していました。父の話ですと、開通当時は、蒸気機関車が走っており、駅には駅長と駅員の二人しか常駐しておらず、川越町(現川越市)-池袋間では鶴瀬駅だけがランプをともしており、笑われていたそうです。

「鶴瀬駅周辺の変化」 小杉 弘さん
鶴瀬駅前の人の賑わいは戦前、戦後、そして西口公団設立と駅西口開設前後で変化が見られるように思います。昭和12年ごろ、列車は1時間に2本しか走ってなく、駅周辺はほとんど畑で、住宅は数える程度しかありませんでした。郵便物は「駅前 小杉」と書いてあれば届きました。また鶴瀬駅には人力車が3台常駐しており、駅のすぐ近くには乾糶所(かんけんじょ)もありました。戦後になってから多くの方が住みだしましたが、特に昭和30年代に入り、駅西側に公団ができたことで駅前には賑わったように思います。昭和40年ごろには東口にボウリング場ができ駅も現在の橋上駅となりました。それまで東口しかなかった改札口は昭和54年になると西口が開設、翌年には駅ビルも完成して街並みは大きく変わりました。現在、区画整理が行われていますので、今後さらに駅周辺も変わることでしょう。

～取材を終えて～ 私たちの暮らしにすっかり馴染んでいる東上線は、もう百年近く走り続けています。開業時、駅開設を決断した先人に、あらためて敬服します。橙色がシンボルカラーの車体に、これから一段と愛着がわきそうです。また、取材をお受けくださいました小杉弘さんに、御礼申し上げます。<この特集は市村、本多、宮崎、兵藤が担当しました。また、編集にあたっては、『東武鉄道100年史』を参考にしました。>

どうして「東上線」って言うの？

日ごろ、私たちが通勤、通学をはじめ、行楽や買い物等のために利用している東武東上線。でも、身近な交通機関でありながら、その歴史や路線名のいわれなど詳しいことは知らないという方が多いのではないのでしょうか。そこで、編集委員がにわか「鉄ちゃん」(鉄道マニア)になって調べてみました。

開業19年目を迎えたふじみ野駅

土地区画整理事業が始まるまでは一面の畑地だった勝瀬原のど真ん中に、ふじみ野駅が開業したのは平成5年11月15日でした。急行停車駅でありながら、開業翌年の乗降客数は鶴瀬駅のほぼ半分にあたる1日平均約27,000人しかなく、東上線37駅(現在は38駅)中26番目の少なさでした。駅に降り立ってみても、目につくものといえば、東武鉄道が西口に建設中のマンション3棟とその販売センターくらいで、東西の駅前ロータリーから真っ直ぐ伸びるメイン道路の両側は一部が駐車場として利用されている以外、空き地のままで建物はまったくありませんでした。



今のふじみ野駅

それから17年余り経った現在、駅周辺には商業ビルやマンションが建ち並び、街路樹も大きく育ち、ちょっとした地方都市の感があります。

それに伴い東上線の利用客も年々増加し、平成21(2009)年における1日当たりの平均乗降客数は60,862人で、池袋、和光市、朝霞台、川越、志木に次いで東上線では6番目の多さとなっています。

ちなみに平日、ふじみ野駅に停車する電車の本数は1日当たり上り、下り合わせて514本あります。

意外と知らない東上線の事実

市内には「鶴瀬」「みずほ台」「ふじみ野」の3駅がありますが、駅長さんがいるのはふじみ野駅のみで他の2駅を兼務しています。

鉄道の路線には、起点となる場所が定められていて、そこには0kmポストと呼ばれる標識が設置されています。これは始発駅にあるのが一般的ですが、東上線の場合は池袋駅ではなく、下板橋駅にあります。それは開業当時、下板橋-田面沢は私設鉄道として敷設されましたが、池袋-下板橋は軽便鉄道として敷設されたからです。

東上線の車両はどこから搬入されるのでしょうか？通常、次のような経路で搬入されます。「車両メーカー工場」(JR線)「熊谷貨物ターミナル」(秩父鉄道)「寄居駅」(東上線)「森林公園車庫」その後、検査・試運転等を経て営業に供されます。なお、工場を出た新車両は自走せず、電気機関車等にけん引されて来ます。

旧駅舎とナツメの木(推定樹齢100年)

東上線開業一周年の大正4(1915)年5月、旧鶴瀬駅舎脇に記念植樹されたナツメの木は、昭和50(1975)年6月、旧鶴瀬駅構内の改造時に市役所敷地内へ移植されました。現在は、正面玄関の右手にある駐車場の隅(交差点の角)に、植えられています。

秋に2cmほどの卵型の赤い実をつけるナツメの木と、数本の大イチョウは、木造の旧駅舎に風情を添えていました。今も残るナツメの木は、開業当時の思いを私たちに伝えているようです。



ナツメの木

「東上線」のいわれ

日光線、伊勢崎線、越生線など東武鉄道の路線名には、すべて沿線の地名が付けられています。唯一の例外が東上線です。地図上で池袋から寄居までたどってみても、どこにも「東上」という地名はありません。開業当時、この路線を運営していたのは東武鉄道ではなく、東上鉄道という会社でした。同社は東京の小石川大塚辻町(現在の東京メトロ丸ノ内線大塚付近)から上州(群馬県)の渋川まで鉄道を施設する遠大な計画のもとに設立され、丸ノ内線(新潟線)の長岡まで延ばす計画がありました。将来には越後(新潟)の長岡まで延ばす計画がありました。まず、大正3(一九一四)年5月に池袋、田面沢(たのもさわ)(注)が開通し、翌々年には坂戸町まで延長しましたが、もともと東武鉄道の傍系会社であったこともあり、同9年に同社と合併しました。その結果、東武鉄道の1路線となり、当初の運営会社名が路線名となったわけです。なお、東上線は正式には「東上本線」といいます。

(注) 田面沢(たのもさわ)駅は現在の東上線川越市、霞ヶ関にある人間川鉄橋のそば(右岸)にありました。開業当時はここが終点でしたが、坂戸町まで延伸したときに廃止されました。



下板橋駅構内にある東上鉄道開業の記念碑

豆知識

鶴瀬駅
開設されてから、6年経過した大正9(1920)年の鶴瀬駅の1日当たりの平均乗降客数は170人でしたが、平成21(2009)年には40,142人になっています。

みずほ台駅
昭和52(1977)年10月21日に開設され、駅名は近在の農家に肥料を配するために作られた行き違い場所(ホーム1本)が「仮称みずほ台信号所」といわれていたところから命名されました。平成21(2009)年の1日当たりの乗降客数は41,169人です。

乗降客数は東武鉄道ホームページより掲載

開業時の駅の数
池袋、下板橋、成増、膝折(現朝霞)、志木、鶴瀬、上福岡、川越町、田面沢の9駅です。